

[様式 2 - 2]

濃縮度試験結果報告書

1. 一般的事項

新規化学物質等の名称 (IUPAC 命名法による)			
別 名			
C A S 番 号			
構造式又は示性式 (いずれも不明の場合 は、その製法の概要)			
分 子 量			
試験に供した新規 化学物質の純度 (%)			
試験に供した新規 化学物質のロット番号			
不 純 物 の 名 称 及 び 含 有 率			
蒸 気 圧			
対 水 溶 解 度	(測定法 :)		
1-オクタノール/水分配係数			
融 点			
沸 点			
常温における性状			
安 定 性			
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度	溶媒中の安定性

[備 考]

1. 物理化学的性状は、可能な限り記入すること。
2. 「蒸気圧」の欄には、被験物質の蒸気圧を記入すること。
3. 「安定性」の欄には、温度、光等に対する安定性を記入すること。
4. 「溶媒に対する溶解度等」の欄には、被験物質の溶媒に対する溶解度及びその溶媒中での安定性を記入すること。
5. 「対水溶解度」の欄にその測定法を記入すること。

2. 試験方法

試験方法		
供試魚（学名）		
供試魚の脂質含量（%）	取込期間開始時： 取込期間終了時： 排泄期間終了時：	
餌料		
餌料の脂質含量（%）	取込期間開始時： 取込期間終了時：	
使用した有機溶剤又はオイルの名称及び濃度	名 称	濃 度（単位）
給 餌 量（g 餌料/g 魚/日）		
基 準 物 質		

3. 試験結果

(1) 濃縮度試験の実測結果

		取込期間	取込期間	排泄期間					
		開始時	終了時	日	日	日	日	日	日
被験物質	試験餌料中濃度 (mg/kg)			/	/	/	/	/	/
	魚 体 中 濃 度 (mg/kg)								
	魚 体 重 (g)								
基準物質 (試験区)	試験餌料中濃度 (mg/kg)			/	/	/	/	/	/
	魚 体 中 濃 度 (mg/kg)								
	魚 体 重 (g)								
基準物質 (対照区)	試験餌料中濃度 (mg/kg)			/	/	/	/	/	/
	魚 体 中 濃 度 (mg/kg)								
	魚 体 重 (g)								

[備 考]

- 該当しない欄に斜線を引くこと。

(2) 経口生物濃縮係数

	被験物質	基準物質 (試験区)	基準物質 (対照区)
BMF			
BMF _k			
BMF _{kg}			

BMF _{KL}			
BMF _{KGL}			

[備 考]

1. 該当しない欄に斜線を引くこと。

(3) 部位別試験のBMF

部位	被験物質	基準物質
頭部		
内臓		
外皮		
消化管		
可食部		

4. 餌料及び魚体分析方法

- (1) 餌料及び魚体分析フロー（手順について簡潔に記載してください。）

- (2) 使用した分析機器の種類とその条件

5. 回収率（平均値）

餌料からの回収率	(%)	
魚体からの回収率	(%)	

6. 考察

*可能な限り、本試験結果の考察（本被験物質の蓄積性について）を記載してください。

7. その他

試験実施施設	名 称	
	所 在 地	電話 () FAX ()
試験責任者	職氏名	
	経験年数	
試験番号		
試験期間	年 月 日 から 年 月 日 まで	

[備 考]

1. 本様式への記載は、最終報告書より転記して作成すること。
2. 最終報告書と同じ試験番号を記入すること。
3. 本様式の作成責任者は、本様式の欄外に、所属及び氏名を記載すること。